



新毎日

夕刊

12月19日(水)

2012年(平成24年)

発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321
毎日新聞東京本社

Toyroyal

www.toyroyal.co.jp

NEWSLINE (1)

湯浅 W杯回転で3位 7

アルペンスキーのワールドカップ男子回転第3戦で、湯浅直樹＝A P＝が自身初の表彰台となる3位に入った。

衆院選座談会 2

幸福論 山田太一さん 3

鴨川の私立高 経営破綻 9

ヘッドハンティング急成長

企業が求める人材を外部からスカウトして橋渡しするヘッドハンティング業が急成長している。かつては強引な引き抜きなどマイナスイメージもあったが、雇用の流動化を追い風に、国内系の大手仲介会社が育ってきた。ヘッドハンティングの現状は？ 【赤間清広】



デイスカウトストアを全国展開する「ミスターマックス」(本部・福岡市)の物流部長、Aさん(53)は、10年末に大手物流会社から転職してきた。きっかけは数カ月前、海外赴任から戻り、関連会社役員として現場から離れていた時にかかってきた一本の電話だった。相手は以前、知人の紹介で食事をしたヘッドハンティング会社のコンサルタント。「国際物流に精通した人材を探しているんです」。上海などに物流センター設置を進めていたミ

強引な引き抜き 今は昔

スターマックスの要請を受けた誘いだっただ。給与は減るが「子会社役員に収まるより、自分の経験を生かした方が面白い」と転職を決意した。海外物流網構築の司令塔として中国の委託業者を変更するなど、大幅なコストカットを実現。今年4月に執行役員に昇格した。典型的な成功例だ。ヘッドハンティングビジネスが日本に上陸したのは70年代。外資系企業の進出に伴い、日本支社のスタッフをそろえるのが主な目的だった。でも当時は終

雇用流動 日光らせる700人

身雇用が当たり前。その気がない人に何度もアプローチしたり、大金を積んだりするなど強引な「引き抜き」も行われ、マイナスイメージがついて企業の利用が広がらなかった。こうした流れに変化が生じたのは00年代以降だ。経済の長期低迷で大手企業が大規模なリストラに踏み切るなど人材の流動化が進んだ。外資主導だったヘッドハンティング業界に、日本企業を主な顧客とする国内系会社が相次ぎ設立された。国内系ヘッドハンテ

イング大手「サーチファーム・ジャパン」によると、現在では日本で営業するヘッドハンティング会社は60社を超え、8割が国内系。ヘッドハンターは700人程度いると推計されている。市場規模は約180億円だが、同社への仲介の問い合わせ件数はこの1年間で倍増したという。

自身もヘッドハンターとして人材発掘に当たるとして同社の武元康明社長(44)は「08年のリーマン・ショック後、海外に活路を求める企業が増え、現地で事業を仕切れる人材の引き合いが増えた」と背景を説明。海外や新規事業のリーダー役から、後継者不足に悩む地方の中小企業の経営者候補を探しまで、ニーズが広がっているという。

あるヘッドハンターは人材探しのコツを「新聞や雑誌で取り上げられた人や、業界関係者の間で評判のいい人をリストアップし、意見交換の時間をとってもらうことが第一歩」と説明。転職への抵抗感が小さくなり、接点さえできれば話し合いがスムーズに進むケースも多い。「強引に人材を引き抜く例はほとんどない」という。イメーシは一変し、企業は「したい」、社員は「されたい」ヘッドハンティングに進化しつつあるようだ。

を...
を見...
を...
を見...
を...
を見...

ル」が響く中、女優の道

い映画を見てるんです。

写真・木葉健二

日経平均の上げ幅は1

12 知りたい

お天気